

令和7年度あきる野市教育の日 第30回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会



令和7年12月6日「令和7年度あきる野市教育の日」に、第30回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会をS&D秋川キヲホールで開催しました。

中学生の主張大会では、市内に在任・在学の中学生の応募者1147人の中から選ばれた14人の生徒が、日常生活を通じて考えていること、願いや希望などを発表しました。

SNS利用の問題点や戦争による人権侵害、祖父母の介護についてなど、幅広いテーマで感情のこもった中学生の「主張」は、観客の共感や感動を呼びました。

審査の結果、最優秀賞1人、優秀賞3人、優良賞10人を決定しました。また、小学生の人権メッセージ発表では、市立小学校を代表して、屋城小学校と五日市小学校の児童が、人権について考えていることを発表しました。中学生の主張大会で、最優秀賞を受賞した作品を紹介しします。

※大会の詳細は、左記の二次元バーコードからホームページをご覧ください。



最優秀賞

お互いの安全を守り合おう

東中学校1年
清水 利音さん



まず一つ目は、投稿前に「これで誰かを傷つけないか」を考えることです。例えば、友達が悪口をLINEで書き込むと、トラブルの原因になってしまうことや、言葉の選び方によって誤解を招いてしまい、相手に嫌な思いをさせてしまうこととなります。だから、私たちは投稿前に文章の内容が相手に正しく伝わるように、優しい言葉で書かれているかを確認する必要があります。

二つ目は、周りでSNSのトラブルを見つけたらすぐに大人に相談することです。実際に中学生がSNSで誹謗中傷を受けていじめにつながったニュースを聞いたことがあります。いじめにあってた人が、「スマホを開くのが怖くなった」「誰にも相談できなかつた」など、辛く苦しい経験をされたと知りました。もし私たちが、いじめを受けている人に気付いたとき、黙って見過ごすのではなく、周りの大人に相談することが大切なことだと思います。

三つ目は、SNSを使う友達同士で、お互いの安全を守り合うことです。SNSの利用から個人情報や盗まれ犯罪被害につながる可能性があります。私は、中学生が犯罪に巻き込まれていくことなんて知りませんでした。怖いと感じました。知らない人からのメールへの返信や見たことのないサイトへのアクセスをしないよう、友達同士で

気を付け合ったり、すぐに親に相談をして対策をとることが大切だと思います。

私は、中学生にSNSの規制をすることで少しでも問題を解決できると思いますが、実際にはSNSの利用を全て禁止することは難しいと感じます。だから、私たちは中学生らしいルールで利用することが大事だと考えます。例えば、利用時間を制限し夜遅くまで使わないようにすることや、いじめにつながるような投稿を自動でロックする機能を使ったり、家族や先生友達と困ったことがあったらすぐに相談できる関係を築いておくことなどが挙げられます。また、学校でのSNSの危険性や正しい使い方を学ぶ授業を積極的に取り入れて欲しいと思います。

今後、日本ではSNSの規制がどのようになるかは分かりませんが、私は家庭でのルールをしっかり決めて守り、安全にSNSを利用したいと思っています。

そして、SNSを使うすべての中学生が、安心してつながれる社会になって欲しいと願います。



防災コンクールで 小・中学生が 活躍しました

令和7年12月7日に、防災・安心地域委員会が主催する防災コンクールが五日市会館で開催されました。当日の出場チームには、自治会・町内会に加え、小中学生も参加し、世代間を超えた「防災」への高い意識が感じられました。

競技では、災害が発生した際の初期対応から火事の通報、負傷者搬送に至るまでの実技における的確性及び総合タイムを競いました。火災が発生した際の「煙体験」では、姿勢を低くして、煙ハウスを通り抜ける子どもたちの姿も見られました。

今回で12回目となる防災コンクールですが、小・中学生の出場チームは年々増えています。地域と学校の更なる連携の強化が、あきる野市全体の防災意識の向上につながることを期待されます。

